

疫学（臨床）研究実施についてのお知らせ

大阪市立大学大学院医学研究科
整形外科

【研究課題名】

腰椎内視鏡下椎弓切除術の治療成績に関する検討

【研究期間】

参加者集積期間(診療録)：2008年4月1日～2014年12月31日（西暦）
倫理委員会承認後 ～ 2019年3月31日

【研究の意義・目的】

高齢社会の加速に伴い腰部脊柱管狭窄症を有する患者が増加していき、手術加療を要する患者も増加していくと予想され、低侵襲で安全な治療を行うことが重要となってきた。本研究の目的は、腰部脊柱管狭窄症に対する腰椎内視鏡下椎弓切除手術の治療成績および術前後の画像変化を検討することが目的である。また、治療成績や画像変化に影響を及ぼす因子についても検討を行う。

【研究の方法】

当科にて腰部脊柱管狭窄症の診断にて脊椎手術、腰椎内視鏡下椎弓切除を施行した患者を対象とする。項目は性別、年齢、罹病期間、手術時間、出血量、手術椎間数を評価し臨床項目として JOA スコア（日本整形外科学会腰椎機能評価）、腰痛、下肢痛、下肢しびれ、SF36 を評価し画像項目は手術前後のレントゲン、CT、MRI を評価する。

【研究組織】

研究代表者

豊田 宏光

【本研究に関する問い合わせ先】

研究責任者 豊田宏光

住所 545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3 整形外科教室

電話 06-6645-3851

FAX 06-6646-6260

E-mail h-toyoda@msic.med.osaka-cu.ac.jp